

インクルーシブ事業連合の
構成団体を紹介します

東京・生活者ネットワーク

生活者の声で都政を変える。都議会に市民の議席を！

★★★★世田谷、杉並、練馬、国立・国分寺でチャレンジ★★★★

生活者ネットワークは、現在、東京都内 35 の自治体にあります。3 名の都議会議員と、市・区議会議員 51 名がいますが、議員だけではなく、メンバーや、市民の皆さんとともに、地域の課題にとりくみ、同時に、市や区をこえた「東京問題」には、全体でとりくんでいます。

政治をあきらめない、お任せにしない、そして市民参加で議会を改革するという生活者ネットワークの原点は、生活クラブ運動グループの「自治」の姿勢（市民による新しい地域社会づくり）から生まれました。日常的にも、運動グループの一員として、自治体への予算提案運動や、調査に基づいた制度提案など、福祉や環境問題を中心に、連携した活動を重ねています。

東京・生活者ネットワーク 2017 年新春の集い (1/31)



都議選候補予定者を囲む、生活者ネットワークの都・区・市議会議員たち



都議選にむけ 4 人の候補予定者(山内れい子、小松久子、きくちやすえ、岡本京子)とともに東京・生活者ネット代表委員・都議の西崎光子がアピール

今年の夏に予定されている都議会議員選挙に向け、生活者ネットワークは 4 名の候補予定者を擁立しました。昨年 12 月の「ピアふえすた」では、生活クラブ運動グループの「東京政策 2017」が発表され、政策協定が結ばれました。

豊洲市場問題やオリンピック問題などで、昨年から、都政が注目されています。しかし、東京都の課題はこれだけではなく、保育や子どもの貧困対策、介護の課題、エネルギー政策など、多くの問題が山積しています。不信を背景にした一時的な関心ではなく、そして、五輪のための都政から、生活する都民のための都政へ変えるためには、行政だけでなく、議会がその責務を果たすことが不可欠です。生活者ネットワークは、東京が人口減少に転じる 2025 年、高齢都市・東京問題こそを視座に据え、市民がつくる〈子ども・若者の未来〉を拓く東京、世代を超えて〈人権を大事にする福祉社会〉の実現をめざし、活動を続けます。

東京・生活者ネット代表委員 水谷 泉

東京・生活者ネットワーク

TEL: 03-3200-9189 FAX: 03-3200-9274
〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13
ASK ビル 4・5 階
<http://www.seikatsusha.me>

インフォメーション

ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)アドボカシーカフェ第 48 回

『障害や病気をもつ家族をケアする子ども・若者たちに希望を』

日 時: 3 月 29 日 (水) 18:30~21:00 (開場 18:00)

会 場: 文京シビックセンター 4 階 シルバーホール

ゲスト: 松崎実穂さん (国際基督教大学ジェンダー研究センター・研究所助手)、井手大喜さん (草加市議会議員)

主 催: ソーシャル・ジャスティス基金

参加費: 一般 1,000 円/学生 500 円

【お申込み・お問合せ】認定特定非営利活動法人 まちぼっと TEL: 03-5941-7948 FAX: 03-3200-9250



(仮称)「市民が参加するまちづくり」〜25 年の実践から伝えたい地域福祉論〜

日 時: 2017 年 5 月 27 日 (土) 12:30~14:00

会 場: 東京ウィメンズプラザ (地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線の表参道駅下車 7 分)

講 師: 石毛鉄子さん (初代アピリティクラブたすけあい理事長)

主 催: NPO 法人アピリティクラブたすけあい (ACT)

参加費: 無料

【お申込み・お問合せ】NPO 法人アピリティクラブたすけあい (ACT) 担当: 大谷・北後

TEL: 03-5302-0393 FAX: 03-5302-0394



安心ネットワーク構想連絡会

「地域包括ケアシステム」を高年齢福祉中心に描く行政に対し、私たちが大事にするのはソーシャルインクルージョンの視点。誰もが自分らしく安心して暮らし続けられるよう、当事者のニーズを受け止め、双方向の関係性を大切にしながらコミュニティケアシステムの構築を目指してきました。地域の課題を洗い出し、あるべき未来を描き、地域に必要なしくみ（事業）がないならば、市民自らがそれを生み出す。そして中長期計画のもと、市民版地域福祉計画をつくり福祉のまちづくりを着実に進めていく。

こうした取り組みを行う地域の報告を共有し、さらなる実践につなげようと、インクルーシブ事業連合では昨年度に引き続き、2 月 8 日、「安心ネットワーク構想連絡会」を開きました。文京、江戸川、武蔵野、八王子、稲城の地域協議会メンバー、各ブロックの地域福祉担当理事、インクル運営委員など計 24 名が参加。すでに市民版地域福祉計画を持ち、重症心身障がい児の育ちや生活を支援する事業を立ち上げた昭島、

中長期計画の福祉分野の取り組みとして、多様な居場所づくりとそれらをつなぐしくみづくりをめざす世田谷、地域の社会資源をネットワークする拠点づくりを視野に入れながら、市民版地域福祉計画策定に取り組む府中。参加者からは「生活クラブのコミュニティリーダーとして、災害備蓄品の配達やイベントを通し、地域の組合員と知り合える機会がとて貴重」。また、居場所づくりに関しては「社会福祉法人は地域貢献を求められている。施設必置の地域交流ルームの活用も考えられる」など、取り組みのヒントになる意見交換がなされました。

インクルーシブ事業連合事務局 稲宮須美

* 市民版地域福祉計画を策定したのは西東京、町田、昭島、八王子。府中、杉並、江戸川、日野、小平、稲城などが現在策定中。



昭島地域協議会
清水さん、大嶽さん



世田谷地域協議会
福井さん



府中地域協議会 奥村さんの
報告に聞き入る参加者

生活クラブ子育て支援事業の実践を発表

2017 年 2 月 11 日、生活クラブの子育て支援事業の担い手が一堂に会し、施設を超えてお互いの実践に学び、交流する場として、生活クラブ保育園ぼむの 3 園と子育て広場ぶらんこによる実践報告会が行われました。



ぼむ・保谷
(西東京市・東京都認証保育所・対象 0~2 歳)



ぼむ・徳丸
(板橋区・小規模保育所・対象 0~2 歳)



子育て広場ぶらんこ
(世田谷区おでかけひろば)



ぼむ・砧
(世田谷区・認可保育所・対象 0~2 歳)

生活クラブの子育て支援事業を行う 4 事業所それぞれから、日ごろ取り組んでいる保育内容の中でも、独自性のある活動について発表されました。

『ぼむ・保谷』の発表テーマは『律動』、『自由表現』と『集団あそび』、『リトミック』の原型からなる「リズム遊び」の取り組みについて、『ぼむ・徳丸』からは、生活クラブならではの食の専門性を生かした「食育活動」について、『ぼむ・砧』は、親子ひろばやノーバディーズパーフェクト講座などの地域交流の取り組み報告に加えてブネ楽器の演奏を実演。『子育て広場ぶらんこ』は、子どもの預けあいをプラスした新しいタイプのサークル活動「なかまほいく」の実践を発表。わかりやすく工夫された発表のあとは質疑も活発に行われ、子育て支援に関わる仲間のホットな思いが伝わりました。地域（社会）の課題を意識した、まちづくりの視点をもつ活動が広がることも期待し、今後もそれぞれの思いや取り組みを共有する貴重な機会として継続してほしいと感じました。

インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子

* ブネ楽器: スウェーデンの音楽療法士ステン・ブネが開発した、子どもから高齢者まで幅広い年齢の人が演奏を楽しめる楽器。写真は当日の実演の様子)

